

2026 年度 二次募集博士課程専門科目の出題意図

【入試種別】 博士課程（二次募集）

【問題 1】 医療薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

CKD は患者数が多く、薬剤師が日常診療に関わる機会が多い疾患である。本設問では、CKD の定義、重症度分類、薬物療法および副作用管理について理解しているかを確認する。また、SGLT2 阻害薬やフィネレノンなど近年の腎保護療法の進歩を踏まえ、CKD 診療の課題を把握し、その解決に向けた研究や治療戦略を提案する考察力を評価することを目的とする。さらに、CKD を腎疾患にとどまらず心血管疾患との関連を含めた全身疾患として理解できているかを確認する。

【問題 2】 薬学臨床領域

【出題の意図・評価ポイント等】

臨床研究の信頼性を評価する上で極めて重要な「バイアス」について、選択バイアス、情報バイアス、交絡の 3 つの主要な観点を正しく理解できているかを確認する。単にそれぞれの定義を暗記しているだけでなく、具体的な研究事例（健康調査や観察研究、疫学の典型例など）に当てはめて、研究結果にどのような影響（歪み）を与えるのかを論理的に説明できる応用力と、それらを防ぐための基本的な回避策に関する知識を備えているかを評価する。

【問題 3】 生物・予防薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

大学院で薬学を学ぶにあたって必要となるウイルス学に関する基礎知識や専門知識の修得状況を確認する。

【問題 4】 創薬化学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

創薬化学領域においては、置換反応、脱離反応、付加反応などの基本的な有機反応に関する知識は、創薬研究を進める上で必須である。問 1 では、これらの基本反応を理解していることを前提に、反応生成物を答える問題を出題した。問 2 では、代表的な 2 種類の置換反応の特徴について問う問題とした。これらの内容は創薬化学の基礎学力として確実に習得しておく必要がある。